

厚生部 提出資料

令和7年6月5日

1. 医師・看護職員

2. 介護職員

3. 保育士

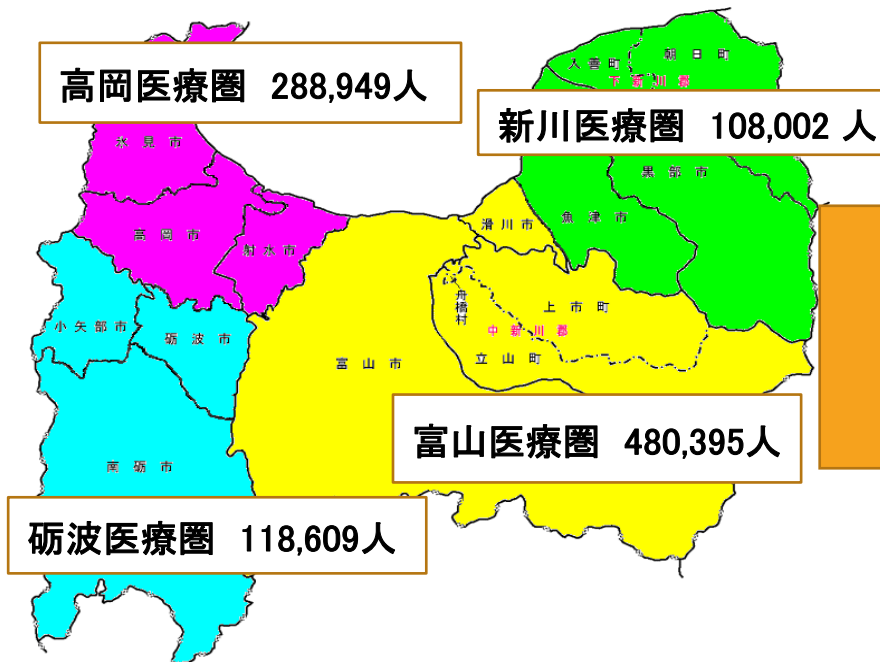
4. 薬剤師

医師需要をめぐる環境の変化

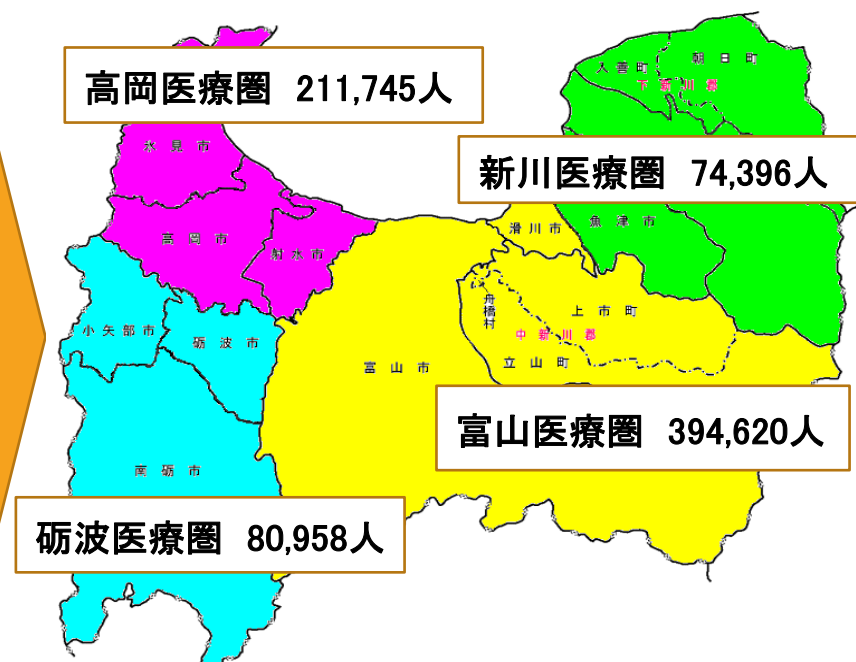
現状・課題

- 医療圏別の2050年推計人口では、新川医療圏及び砺波医療圏で10万人を下回る。
- 2次医療圏設定の基準である20万人を大きく下回ることから、設定見直しの検討が必要となる。

2024年10月1日 県全体 995,955人



2050年推計人口 県全体 761,719人



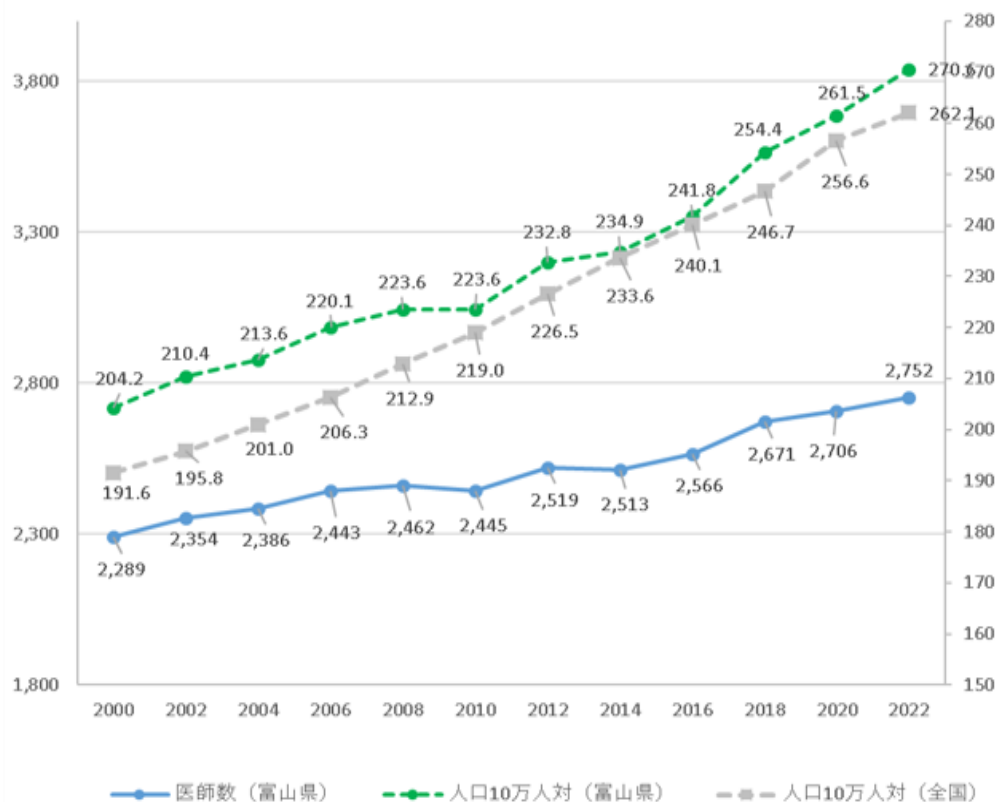
医師数の推移

現状・課題

- 本県の医師数は年々増加してきており、人口10万人当たりの医師数は、全国を上回っている。
- 医師の負担軽減・処遇改善を図りつつ、引き続き、地域の医療体制を踏まえ、医師確保に取り組む必要がある。

年次	医療施設の従事者		
	富山県		全国
	実数（人）	人口10万対	人口10万対
2000	2,289	204.2	191.6
2002	2,354	210.4	195.8
2004	2,386	213.6	201.0
2006	2,443	220.1	206.3
2008	2,462	223.6	212.9
2010	2,445	223.6	219.0
2012	2,519	232.8	226.5
2014	2,513	234.9	233.6
2016	2,566	241.8	240.1
2018	2,671	254.4	246.7
2020	2,706	261.5	256.6
2022	2,752	270.6	262.1

医師数（医療施設従事者）の推移



看護職員数の推移

現状・課題

- 本県の看護職員数は年々増加しており、人口10万人当たりの看護職員数は、全国を上回っている。
- 看護職員の職域は福祉施設や在宅看護へと拡大しており、地域のニーズに応じた質の高い医療を提供するため、看護職員のさらなる増加が必要とされている。

就業者数(実人員)

年	富山県	全国
平成22年	14,896	1,394,787
24年	15,363	1,452,635
26年	15,871	1,509,340
28年	16,602	1,559,562
30年	16,900	1,612,951
令和2年	16,998	1,659,035
4年	17,150	1,664,378

看護職員(令和4年末)【人口10万対】

	保健師	助産師	看護師	准看護師
富山県	70.9	42.3	1,318.0	255.2
(全国順位)	(7)	(4)	(14)	(24)
全国	48.3	30.5	1,049.8	203.5

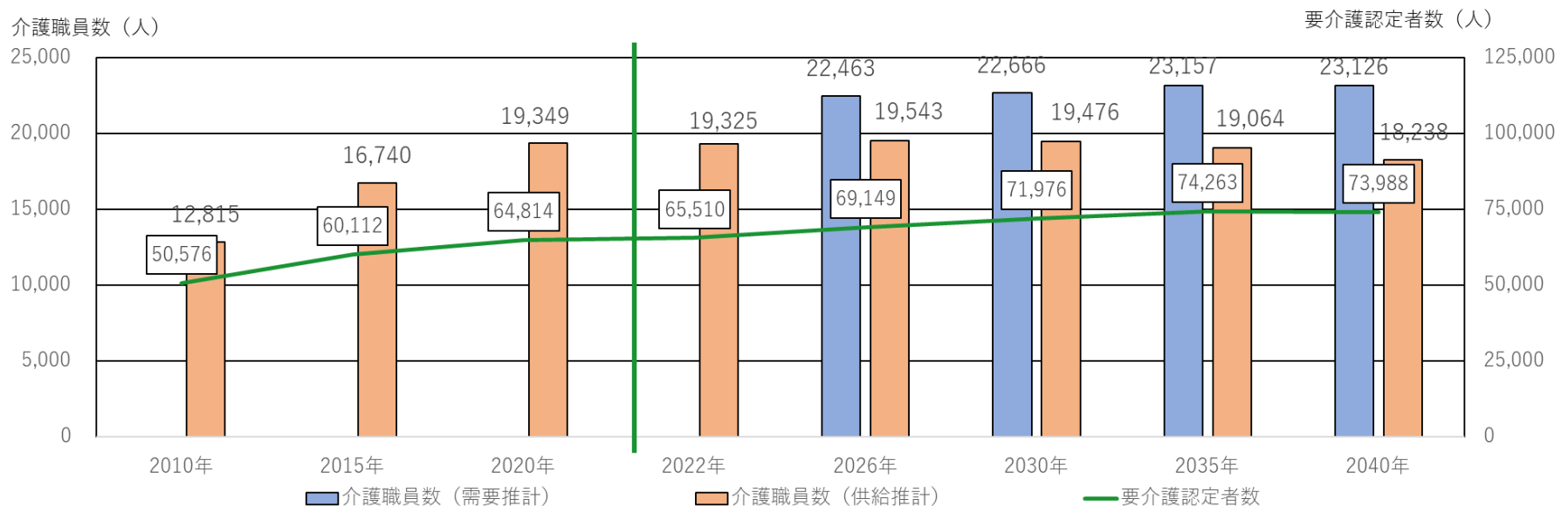
看護職員の年次推移 (人口10万対)



介護人材の現状

現状・課題

- 第9期富山県介護保険事業支援計画においては、今後の介護サービス見込量をもとに、介護職員の必要数は2026年度には22,463人（+3,138人）、2040年度には23,126人（+3,801人）と見込んでいる。 ※（）内は2022年度の介護職員数供給推計（19,325人）比



出典：2026年以降 厚生労働省「介護人材需給推計ワークシート」による推計（第9期介護保険事業支援計画）

2022年以前 厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」

（調査方法の変更などによる回収率変動等の影響を受けていることから、厚生労働省（社会・援護局）にて補正、補正方法は年度により異なる。）

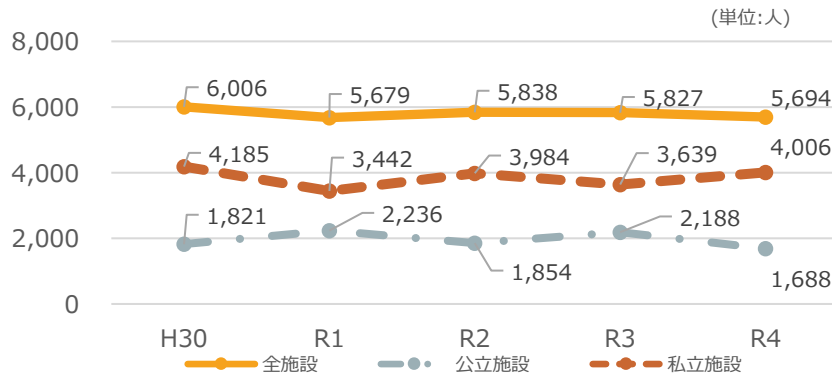
※介護職員の必要数は、介護保険給付の対象となる介護サービス事業所、介護保険施設に従事する介護職員の必要数に、介護予防・日常生活支援総合事業のうち従前の介護予防訪問介護等に相当するサービスに従事する介護職員の必要数を加えたもの。

保育士数等の推移

現状・課題

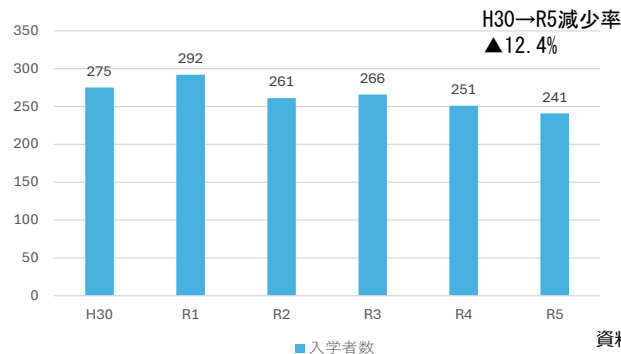
- 県内の保育所等に勤務する保育士数は6,000人程度で推移している。
- 児童が減少する中、特に3歳未満の入所児童数の割合が増加するなど、入所児童数に大きな変化は見られない。
- 今年度から「こども誰でも通園制度」が実施されるなど保育に対するニーズは減少していない。
- 一方、指定保育士養成施設への入学者は人口減少率以上に減少している。

県内の保育所等に勤務する保育士数の推移



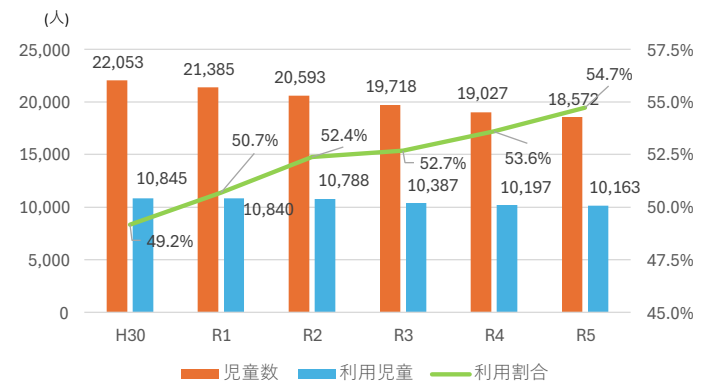
資料：社会福祉施設等調査（厚生労働省）※保育所等（保育所・幼保連携認定こども園等）

指定保育士養成施設の入学者数の推移



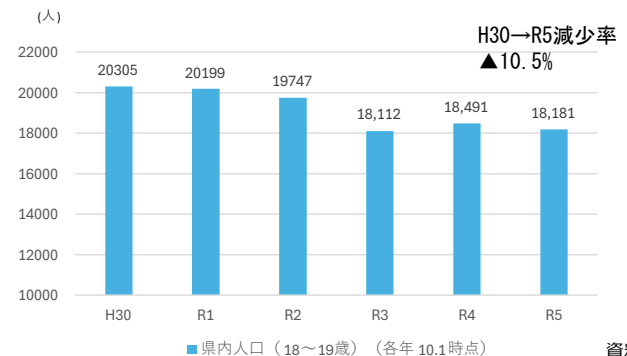
資料：富山県

3歳未満の人口と保育所等利用児童数・率



資料：厚生労働省（こども家庭庁）調査（各年4月1日時点）

県内人口（18～19歳）の推移



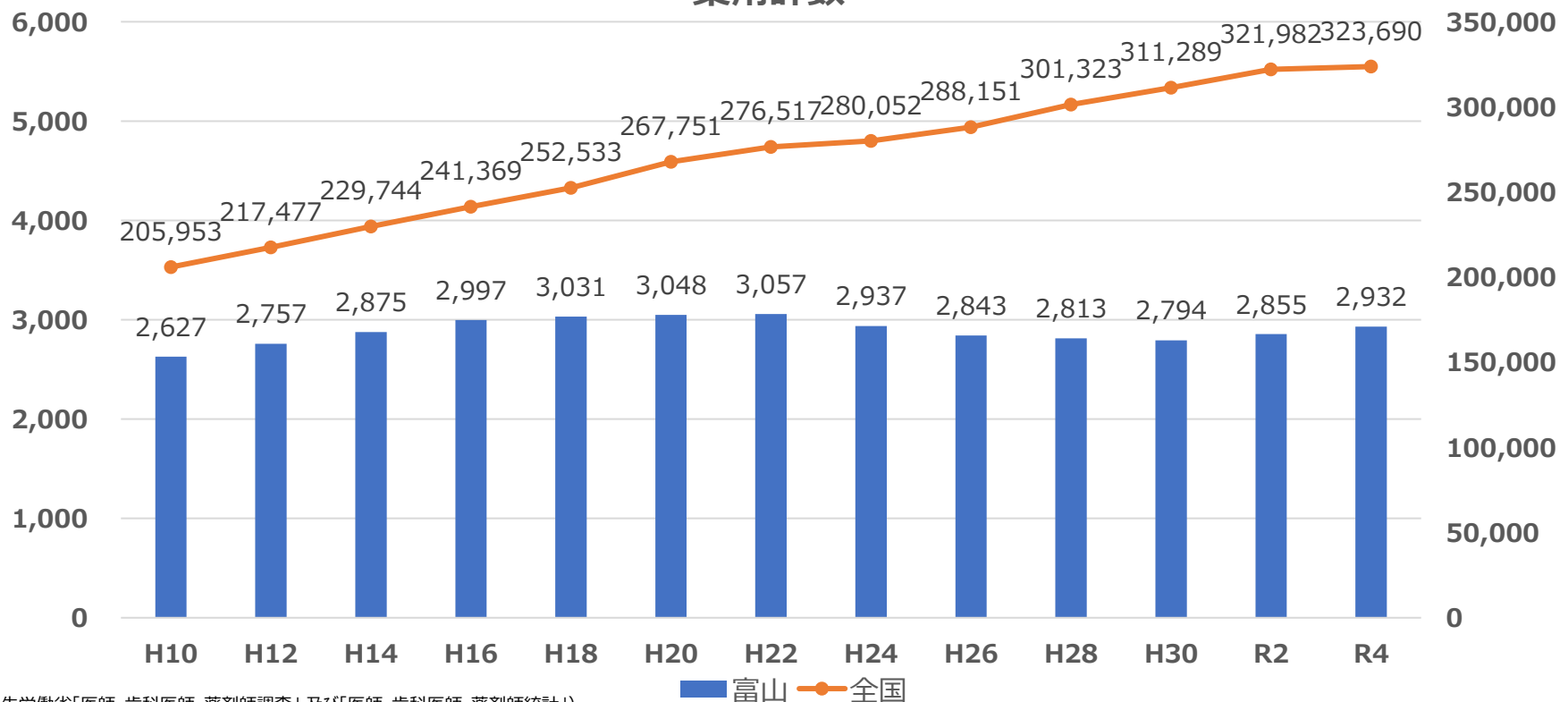
資料：富山県

薬剤師数の推移

現状・課題

- 過去22年間で、薬剤師は一貫して増加傾向を示しているが、富山県においては横ばいから減少傾向（ピーク時の平成22年と比較し、令和4年で▲4.1%）。新卒薬剤師の就業地の地域偏在が示唆される。
- 令和4年12月末時点のデータ（令和6年3月公表）では、県内の薬剤師数は微増（+77人）。

薬剤師数

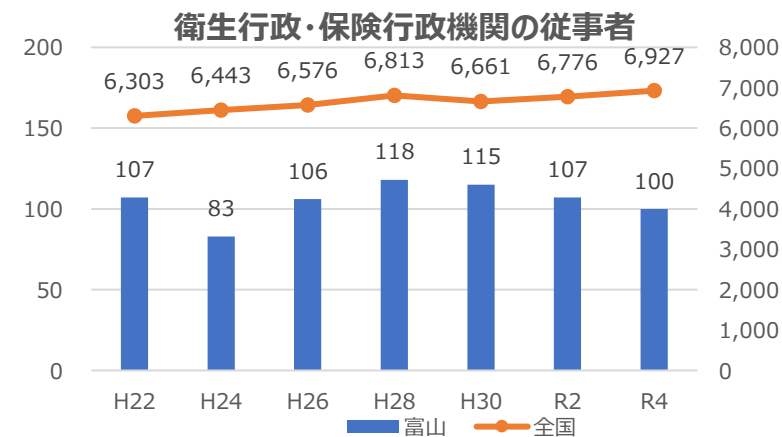
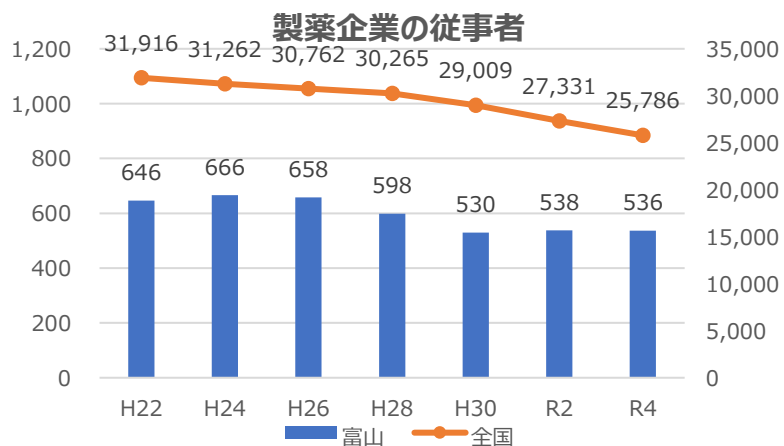
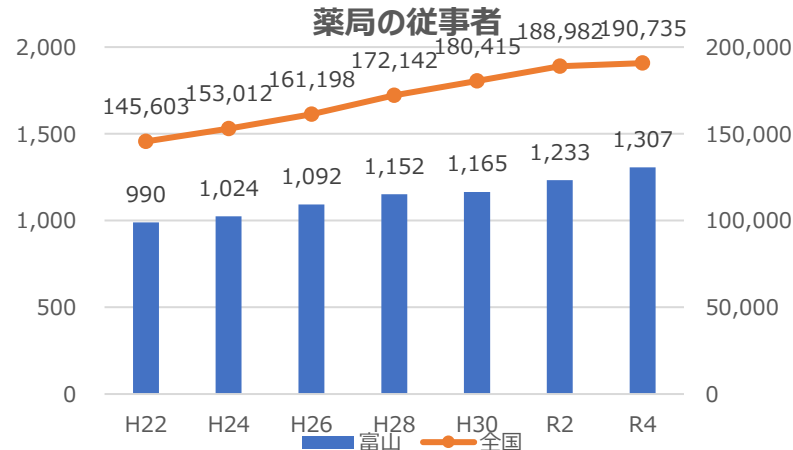
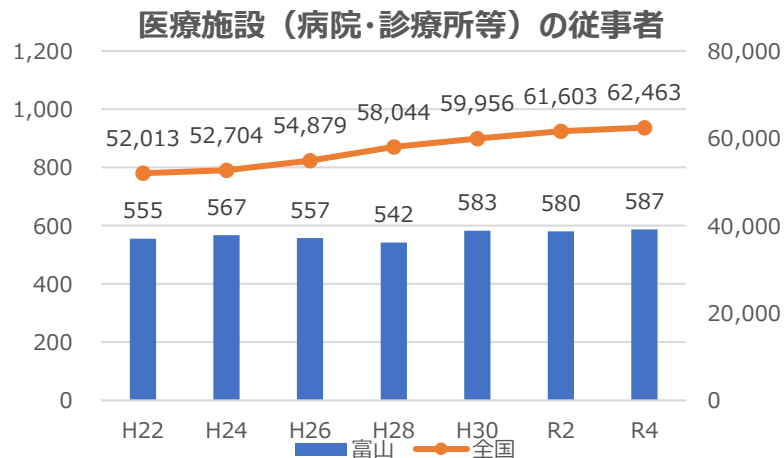


（厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」及び「医師・歯科医師・薬剤師統計」）

薬剤師数の推移(業種別)

現状・課題

- 病院・診療所や製薬企業に勤務する薬剤師数など、全体の傾向は大きく変わっていない。



関係団体からの意見

医療

- ✓ **病院ごとの役割分担を明確にし、すみ分けを行っていくことが必要。**
- ✓ 医療は年々高度・細分化が進んでおり、専門的に診断することも重要だが、高齢化が進むなか、地域の病院では、**社会問題を抱えた人を総合的に診る医師の確保**も必要。
- ✓ **高齢者救急に対応できる体制の整備**が必要。
- ✓ 看護職員は年々増えているが、生産年齢人口が減少するなか、今後も看護職員が確保できるかは不安。
- ✓ 高齢化が進み、**在宅医療へのニーズが今後も増えていく**と考えるが、若い世代で訪問看護に就く看護師が少なく、**新卒や若い世代の訪問看護師育成**に力を入れていくことが必要。

介護

- ✓ 国では、都市部と中山間地を区分した人材確保の議論が進んでおり、県内でも**中山間地域での人材不足がより顕著**になってきている。
- ✓ **訪問介護にかかる報酬減**が事業所を直撃し、**ホームヘルパーの不足**が喫緊の課題。
- ✓ ビジネスケアラーの問題や、看護師からのタスクシフトなどへの対応が必要になるなかで、**国家資格を持つ介護福祉士は一定程度必要**。
- ✓ **外国人材**も計画的に確保していくことが必要。
- ✓ **テクノロジーの導入**などにより少ない経営資源で現場の生産性を上げるため、事業者間の連携が必要。
- ✓ 40、50代のウェルビーイング指標が低いという統計には、**県民に先の介護を不安に感じている面がある**のではないかと。安心につながる施策をお願いしたい。

関係団体からの意見

保育

- ✓ 人口減少に伴い保育士を目指す学生が減っており、保育士の確保が難しくなっている。**保育士の魅力を伝える取組み**が必要。
- ✓ 魅力的でやりがいのある仕事であっても**賃金が伴わなければ働き手は減少する**。処遇改善のための財政措置が必要。
- ✓ **落ち着きがないなど気になる子の増加に伴い、保育士の加配も必要**となるため、保育士確保は喫緊の課題。
- ✓ 保育士等の業務負担の軽減のため、**保育補助者の雇用や業務のICT化による効率化**が必要。

薬事

- ✓ **医薬品製造業で薬剤師が不足すると企業として成り立たなくなる**。特に影響が顕著なのは小規模な製造業であり、薬剤師確保は喫緊の課題。
- ✓ **病院の中で薬剤師が何をしているかが見えにくく、病院薬剤師の不足が伝わらないことが問題**。
- ✓ 現在の薬局の業務で**薬剤師の不足感がある薬局は半数近い**。
- ✓ 薬剤師をしっかりと確保できることが、**医療の安全、医薬品の安定供給・品質確保**につながる。
- ✓ 県内だけでなく県外からも薬剤師を集める努力が必要。また、中学・高校に入る前から、**薬剤師の仕事やその目指すものが見えるような情報**が必要。
- ✓ **病院薬剤師や企業は、就職したいと思ってもらえるように魅力を高めることが必要**。

医師・看護職員確保の取組み

県の取組み

医師確保

- 富山大学や金沢大学の医学部に特別枠を設置し、修学資金を貸与（R⑦当初 1億1,326万円）
- 特定診療科等の確保推進（R⑦当初 4,000万円）
医学生等のキャリア形成支援、医師不足・偏在状況調査分析、医師派遣等を行う寄付講座を富山大学に設置
- 臨床研修医の確保、技術向上に対する支援（R⑦1,396万円）
病院見学、レジデントカフェ、臨床研修病院合同説明会の開催
臨床研修病院におけるスキルアップセミナー（県内外の有名医師による講演、技術指導）
- 救急科専門医等の育成確保（R⑦当初 444万円）
ドクターヘリを活用した研修、先進地研修、救急分野のスキルアップセミナー
- 医療機関の勤務環境改善の取組みに対する支援（R⑦当初 2億925万円）
医療労務環境アドバイザーの派遣、研修会の開催、勤務環境改善に取り組む病院等の支援

看護職員確保

- 看護学生修学資金貸与（R⑦当初 13,678万円）
将来県内において看護職員業務に従事しようとする看護学生に修学資金を貸与
- 一日看護体験、看護学生U・Iターン応援事業の実施（R⑦当初 205万円）
高校生の一日看護見学、県内出身の看護学生への情報提供・病院見学ツアー
- 再就業支援・定着推進（R⑦当初 2,742万円）
ナースセンターにおける潜在看護職員等の登録、ハローワークと連携した就業支援
- 質の高い看護職員の育成支援（R⑦当初 2,769万円）
専門性の高い研修会の開催支援、認定看護師や特定行為研修における受講料の一部助成

介護職員確保の取組み

県の取組み

人材の掘り起こし、生産性向上や処遇改善などの定着支援

○ 地域からの介護人材参入促進事業（R7当初 900万円）

県内介護福祉士養成校の学生等と連携した地域住民への介護の仕事の魅力発信により、地域からの介護人材の掘り起こしや参入促進を実施（富山短期大学の中島教授が主導）

○ 介護テクノロジー導入支援事業（R6.2補正 3億8800万円）

介護現場の生産性向上を強力に推進し、職員の負担軽減及び介護人材の確保を図るため、介護ロボットやICT等のテクノロジー機器の導入を支援

○ 介護人材・職場環境改善等事業（R6.2補正 8億7,313万円）

介護サービス事業所が人材確保・定着等を図るために実施する生産性向上や職場環境の改善等の取組みを支援

※介護職員（常勤換算）1人当たり5.4万円に相当する額を支援

○ 訪問介護等サービス提供体制確保支援事業（R6.2補正 8,630万円）

① 人材確保体制構築支援事業

【対象経費】ア.研修体制づくりの支援、イ.採用活動の支援、ウ.経験年数の短いヘルパーへの同行支援等

② 経営改善支援事業

【対象経費】ア.経営改善の支援、イ.常勤化の促進の支援、ウ.協働化・大規模化の取組の支援、
エ.広報活動に関する支援

介護職員確保の取組み

県の取組み

外国人材の活用

○介護特定技能外国人マッチングから定着までの一体支援事業（R⑥・R⑦当初 各460万円）

外国人介護職員のさらなる受入れ促進に向け、1号特定技能外国人のマッチングから定着までの一体的なサポート体制を構築。

- ・介護事業所を対象とした事業説明会の開催（年3回程度）
- ・受入希望事業所に対する採用活動支援、異文化理解研修 の実施 など

R6実績：ミャンマー10人、ネパール2人

○外国人介護人材受入施設等環境整備事業（R⑥当初 300万円、R⑦当初 600万円）

介護施設等における、外国人介護人材を受け入れるための環境整備等を支援

補助率：1事業所につき2/3（上限20万円）

- ①外国人介護職員とのコミュニケーションを支援、外国人介護職員への生活支援等に係る経費の一部を支援
- ②留学生への教育の質向上を図る介護福祉士養成校に対し、経費の一部を支援



例：自転車



ポケットーク

保育士確保等の取組み

県の取組み

人材確保に対する取組み

○ 保育士・保育所支援センター運営事業（R7当初 501万円）

専任のコーディネーターによる潜在保育士に対する相談対応や再就職支援、潜在保育士の掘り起こし等

○ 保育人材確保支援事業（R7当初 887万円）

- ・【新】指定保育士養成施設に通う学生を対象とした、就職活動に係る費用の一部の貸付け（卒業後、県内施設に3年間の実務従事で返還免除）
- ・潜在保育士が再就業する場合の就職準備金の貸付け（再就職後、2年間の実務従事により返還免除）等

○ 未来の富山の保育士確保事業（R7当初 109万円）

高校生に保育士の魅力を伝える保育所体験バスツアーの実施等

○ 潜在保育士確保に向けた保育補助者雇用促進事業（R7当初 1,495万円）

潜在保育士の保育現場への段階的な復帰を促進するため、潜在保育士を保育補助者として雇用する経費を支援

○ 保育所等におけるICT化推進等事業等

保育の周辺業務や補助業務に係るICT等を活用した業務システムの導入費用の一部補助などにより、保育士等の業務負担の軽減等を図る。（県負担なし（国・市町村・事業者で負担））

処遇改善に対する取組み

○ 公定価格による加算措置等

- ・①経験年数による加算や、②研修や技能を積んだ者への加算、③収入の約3%（約9,000円）相当の引き上げなど
- ・令和6年度人事院勧告に伴う、10.7%の人件費の引き上げ
- ・【新】1歳児の職員配置について、6対1から5対1へ改善された場合の加算措置の創設

薬剤師確保の取組みの展開

県の取組み

- ・ 中高生～大学生～社会人の各段階に対する切れ目のないアプローチにより、県内で活躍する薬剤師を確保するための施策を総合的に実施
- ・ 関係団体による「富山県薬剤師確保対策推進協議会」における議論を通じて、取組み内容の充実を図る。

◆富山大学薬学部「地域枠」生への修学資金貸与制度

：富山大学薬学部「地域枠」生への修学資金を貸与し、経済的インセンティブを付与・学習環境を整備することで、地域をリードする人材を育成し、卒業後は県内を舞台に活躍を期待

長期定着
(社会人)

就職者 増
(大学生)

志望者 増
(中高生)

◆薬剤師のお仕事体験学習

：中高生が薬局・病院・製薬企業等での業務を体験。“薬学”の進路選択へのアプローチ

◆未来の薬剤師発掘セミナー

：中高生及び保護者を対象に、大学の薬学教育や、製薬企業等での仕事を紹介

◆地域枠生と考える中高生向けPR事業

：「地域枠」一期生のアイデアを活かし、県内各高校で在学学生に薬剤師の魅力を伝える

◆公的病院薬学生短期インターンシップ

：全国の薬学生を対象に、県内公的病院で富山の病院薬剤師の仕事を体験

◆病院薬剤師PR動画・パンフレット

：公的病院の薬剤師キャリア紹介ツール

◆行政薬剤師確保PR事業（中病含む）

◆富山大学の中高生向けPR事業

：中高生向け薬剤師職PRのため、斎藤学長や杉谷キャンパスの教員・学生と語るイベントの開催

◆富山県奨学金返還助成制度

：本制度によりマッチングした学生の奨学金の返還を助成（県・採用企業1/2ずつ負担）

◆「くすりの富山」薬学生・薬剤師応援サイト

：薬学生・薬剤師向けの、富山県の薬剤師キャリアや採用関連情報の紹介サイト

◆富山県製薬企業セミナー開催

：県内製薬企業の業界研究セミナーの開催、県内製薬企業PRパンフレットの作製。

◆ネクスト・ファーマ・エンジニア養成コース

：県薬業連合会（製薬企業）や大学と連携した、医薬品産業の人材育成・確保のための教育プログラム

薬剤師確保の取組み(R7年度)

県の取組み

○富山県地域薬剤師確保修学資金貸与事業 (R⑦当初 2,566万円)

- ・富山大学薬学部「地域枠」の学生に対し、修学資金を貸与
- 入学料・授業料+修学費（5万円/月）6年間計：約709万円**
- ※卒業後に一定の期間、薬剤師として県内の公的病院や製薬企業等で勤務した場合に返還が免除となる

○薬剤師育成確保対策事業(R⑦当初 200万円)

- ・中高生・保護者に、薬剤師を志す学生を増やすための企画を実施

◆ 薬剤師のお仕事体験学習

参加者数 (R6年度)	調剤薬局コース (中学生)	公的病院コース (高校生)	薬総研コース (中・高校生)
	82名	39名	46名

◆ 未来の薬剤師発掘セミナー

大学の薬学教育、病院・薬局・製薬企業等の薬剤師の仕事など紹介（R6年度参加者数：80名（オンライン含む））

○富山県製薬企業セミナー開催等 (R⑦当初 100万円)

- ・県内製薬企業の業界研究セミナーの開催（R6年度参加26社）
- ・県内製薬企業PRパンフレットの作製

○「くすりの富山」薬剤師確保対策事業 (R⑦当初 1,030万円)

◆「富山県薬剤師確保対策推進協議会」の開催

- ・協議会において、県の薬剤師確保対策について検討を行う。
- ・令和6年度より協議会にワーキンググループを設置。「地域枠」卒生の地域医療コースについてプログラム内容等の検討を行う。

◆ 地域枠生と考える中高生向け薬学・薬剤師PR事業

「地域枠」一期生のアイデアを活かし、県内各高校で在学学生に薬剤師の魅力を伝える説明会を開催（R6年度：3校で開催）

◆ 公的病院薬学生短期インターンシップの開催

全国の薬学生を対象に、県内の公的病院で短期インターンシップ（職場体験：3日間で3病院）を開催。県外の薬学生に対しては、富山県までの往復旅費をサポートする。

参加者数 (令和6年度)	県外大学生	県内大学生
	15名	4名

◆ 県庁・県立中央病院の薬剤師職員の確保対策

リクルートサイトの活用や、就活イベントでのPR活動など。
（「病院採用枠」の新設・採用試験早期募集を実施中。R6年度採用試験（第4回）より専門試験を廃止）

◆ 人材紹介サービスを活用した行政薬剤師確保事業

人材紹介サービスを活用した行政薬剤師の確保を試行的に実施

今後の取組みの方向性

ありたい姿・実現したい未来

あらゆる世代において、支えられる人が、様々な人とのつながりの中で、自らも支える立場となることで、自分らしく、生きがいをもっていきいきと暮らす。

対策の方向性

人口減少社会において、限られた人員ですべての人に医療と福祉を提供するため、

- ✓ 多様な人材の確保に向けた取組みの推進、若者への医療・福祉の仕事の魅力の発信
- ✓ ICT機器の導入やタスクシフト/シェアによる業務の効率化などによる現場の生産性向上、職場環境の改善・働きやすく魅力ある職場づくり

➤ 医療

- ・ 医療機関の機能分担と連携強化をさらに図り、医療需要に応じた医療供給体制のあり方を検討
- ・ 地域を支える総合診療医や在宅医療を担う訪問看護師の育成とともに、感染症や災害に備えた体制整備に平時から取り組む

➤ 介護

- ・ 元気高齢者による介護助手の導入促進、外国人留学生の確保に取り組む介護福祉士養成校や事業所への支援、介護サービスの質の維持・向上を実現するための介護ロボットやICT等のテクノロジー導入への支援

➤ 保育

- ・ 新たな担い手の確保や潜在保育士の掘り起こし

➤ 薬事

- ・ 医療技術の高度化、在宅医療の進展等に伴う医薬品の安全使用といった社会的要請に応える医療の担い手として、質の高い薬剤師の確保
- ・ 薬剤師の質の向上を図るため、県薬剤師会における医療安全や臨床薬学、薬局研修や在宅医療等に関する各種研修に対する支援